

## 映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2017」取材のご案内

映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2017」を平成29年11月20日(月)から11月25日(土)に開催します。会期中には以下のとおり公開プログラムを実施します。是非ともご来場、ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### ■開催趣旨

映画分野における人材育成事業「タレンツ・トーキョー」は、映画監督やプロデューサーを目指すアジアの参加者(以下 タレンツ)に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供するものです。映画監督、プロデューサー、セールスの各部門において世界で活躍するプロフェッショナルを講師陣として迎え、講義やプレゼンテーションを通じて参加者の育成を図ります。また、タレンツ同士の交流や講師とタレンツとの交流、さらには、同時開催される映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画監督たちとタレンツとの交流により、タレンツが国際的なネットワークを新たに築くことを目指しています。

### ■開催概要

名称：タレンツ・トーキョー2017

期日：平成29年11月20日(月)から11月25日(土)まで

※「第18回東京フィルメックス」開催期間中の6日間

会場：有楽町朝日ホール

対象者：映画監督、プロデューサーを目指す者15名

主催：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、

国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会(東京フィルメックス)

提携：ベルリナーレ・タレンツ(ベルリン国際映画祭)

協力：ゲーテ・インスティテュート/東京ドイツ文化センター



### ■公開プログラム

○11月23日(木・祝) 13:00-14:00 公開講義「世界の映画祭を活用する広報戦略」

○11月23日(木・祝) 14:30-17:20 公開プレゼンテーション

○11月25日(土) 16:15-16:45 授賞式及び閉会式

※公開プログラムの詳細については別紙1をご参照ください。

※タレンツ・トーキョー2017のメイン講師及び参加者については、別紙2をご参照ください。

### <タレンツ・トーキョー2017に関する問い合わせ先>

タレンツ・トーキョー実行委員会

TEL: 03-3560-6393 FAX: 03-3586-0201

Email: [talents@talents-tokyo.jp](mailto:talents@talents-tokyo.jp) ホームページ: <http://talents-tokyo.jp/>



### 「2020年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「スマートシティ 政策の柱8 芸術文化の振興」

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。

「カテゴリー：魅力発信 プロジェクト名：東京文化プログラムの拡充・推進」

### <問い合わせ先>

生活文化局文化振興部文化事業課 藤生・植田 電話 03-5320-7658 内線 29-450

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 森(隆)・圓城寺 電話 03-6256-8432

## 【タレンツ・トーキョー2017 公開プログラム取材のご案内】

### 1 公開プログラム概要

#### (1) 11月23日(木・祝) オープン・キャンパスデー【日本語同時通訳あり】

##### 13:00~14:00 公開講義「世界の映画祭を活用する広報戦略」

講師：リチャード・ローマンド氏（コミュニケーション・ストラテジスト、フィルム・プレス・プラス代表）

（第69回カンヌ国際映画祭のプレミア上映にて高い評価を受け、2016年映画賞レースを席卷し、カイエ・デュ・シネマの年間第1位となった『ありがとう、トニ・エルドマン』（マーレン・アデ監督）や、第73回ベネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞し、メリル・ストリープが絶賛した『立ち去った女』（ラヴ・ディアス監督）のパブリシティを担当。世界三大映画祭を始めとした、各国際映画祭にコンサルタントとして約25年間深く関わり、プロデューサーとしても活躍している。）

##### 14:30~17:20 公開プレゼンテーション

参加者がプロデューサーや配給会社に対して、自身の企画のプレゼンテーションを行います。

※ 著作権保護のため、動画撮影はご遠慮ください。

#### (2) 11月25日(土) 授賞式及び閉会式【日本語逐次通訳あり】

##### 16:15~16:45 授賞式及び閉会式

公開プレゼンテーションを行った企画のうち、優秀な企画1点を表彰

### 2 会場

#### 有楽町朝日ホール・スクエアB

〒100-0006

東京都千代田区有楽町二丁目5番1号 有楽町マリオン11階

アクセス：JR有楽町駅 徒歩1~2分(中央口、銀座口)

東京メトロ(日比谷線、丸の内線、銀座線)銀座駅 徒歩1~2分(C4出口)

東京メトロ(有楽町線)有楽町駅 徒歩1~2分(D7出口)

※詳しくは、別添をご参照ください。

### 3 取材申込方法

取材を希望される場合は、**平成29年11月16日(木)正午**までに、別添「取材申込票」によりFAXにて生活文化局文化振興部（FAX:03-5388-1327）へお申し込みください。

### 4 取材受付

#### (1) 受付時間

各プログラムとも開始予定時刻の15分前から受付を開始いたしますので、お申込みプログラム開始の5分前までに受付を済ませてください。お申込みをいただいても時間まで

にご来場されない場合、お席の準備ができないことがありますので、予めご了承ください。

## (2) 受付場所等

会場入口のプレス受付にて、取材申込票もしくはお名刺をご提示の上、社名・人数をお知らせください。「プレスパス」をお渡しいたします。

## 5 取材ポイント

プレス席をご用意しておりますので、取材はプレス席よりお願いいたします。指定場所以外での取材はご遠慮ください。

## 6 撮影について

(1) 本事業にて撮影した動画・写真を、番組制作等、報道以外でご使用の場合は、必ず事前にご相談ください。

(2) **11月23日(木・祝) 14:30~17:20「公開プレゼンテーション」については、動画撮影は禁止とさせていただきます。**また、発表中のスクリーン映像については、動画撮影に加えて写真撮影もご遠慮ください。ご迷惑をおかけしますが、著作権保護及び円滑なプログラム進行のため、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 7 取材における留意事項

(1) 取材にあたっては、自社腕章及び受付でお渡しする「プレスパス」を着用してください。

(2) 会場の都合上、プレス席、プレスエリアが手狭となっております。各社譲り合いのご協力をお願いいたします。

(3) プログラム実施中の出入りは固くお断りいたします。また、会場内では、係員の指示に従ってください。

(4) 取材に必要な電源は、各社にてご用意ください。

(5) 当日、講師・参加者へ個別取材をご希望される場合は、取材受付時にお申し出ください。

【タレンツ・トーキョー2017 会場案内】



**●有楽町朝日ホール  
スクエア  
ギャラリー**  
(有楽町マリオン11階) (Tel.03-3284-0131)  
(Fax.03-3213-4386)

●有楽町朝日ホール・スクエア B

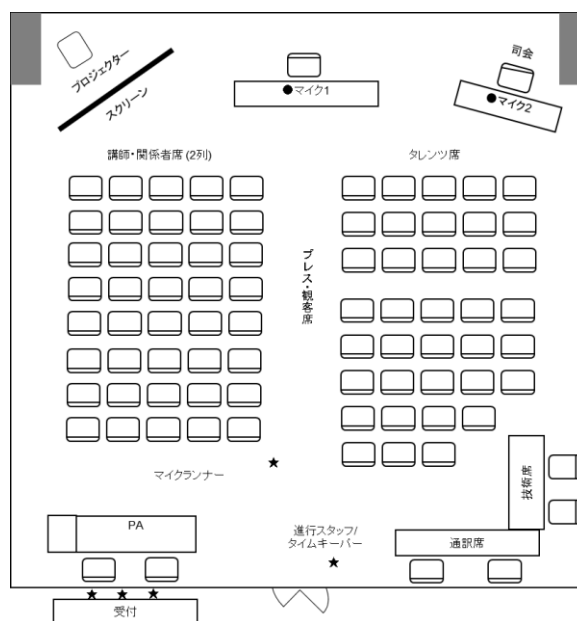
〒100-0006

東京都千代田区有楽町二丁目5番1号  
有楽町マリオン11階

アクセス

- ・JR線有楽町駅  
徒歩1～2分(中央口、銀座口)
- ・東京メトロ(日比谷線、丸の内線、銀座線)銀座駅  
徒歩1～2分(C4出口)
- ・東京メトロ(有楽町線)有楽町駅  
徒歩1～2分(D7出口)

●有楽町朝日ホール・スクエアB内  
見取り図 (※ 有楽町マリオン 11階)



## 【タレンツ・トーキョー2017 メイン講師及び参加者】

## 1 メイン講師

## ・ ペンエーグ・ラッタナルアーン（映画監督）

バンコク生まれ。1997年、今までのタイ映画の型を破った長編作品『ファン・バー・カラオケ』で監督デビュー。1990年代後半～2000年代初期のタイ映画界ニューウェーブのパイオニアとして知られる。監督した作品のうち『Sixty-nine シックスティナイン』（1999年）、『わすれな歌』（2001年）、『地球で最後のふたり』（2003年）、『ヘッドショット』（2011年）の4本はそれぞれオスカー外国語映画賞部門にタイ代表としてエントリーされた。数々の作品が世界のメジャーな映画祭で上映され、世界各国で配給されている。

## ・ チェドミール・コラル（プロデューサー）

クロアチアの湾岸都市リエカ（旧ユーゴスラビア）生まれ。ベオグラード・アカデミーのドラマティック・アーツ学部にて映画プロダクションを専攻、卒業。1991年よりパリのNoé Productions社にプロデューサーとして勤務する。手掛けた作品には、『ビフォア・ザ・レイン』（ミルチョ・マンチェフスキ監督/1996年）、『祖国アフリカ』（イドリッサ・ウエドラオゴ監督/1986年）、『Kini and Adams』（イドリッサ・ウエドラオゴ監督/1997年）、『As you like me』（Carmin AMOROSO 監督/1997年）、『Train of Life』（Radu MIHAILEANU 監督/1998年）、『あの娘と自転車に乗って』（アクタン・アリム・クバト監督/1998年）、『旅立ちの汽笛』（アクタン・アリム・クバト監督/2001年）、『ノー・マンズ・ランド』（ダニス・タノヴィッチ監督/2001年）などがあり、オムニバス映画『11'09"01/セプテンバー11』に収録されている、ダニス・タノヴィッチ監督の短編をGalatée films社とStudio Canal社でプロデュースする。2003年には、パリを拠点にした制作会社、A.S.A.P Films社をダニス・タノヴィッチ監督とマーク・バシェ氏と共に立ち上げる。

## ・ フレデリック・コルヴェズ（ワールド・セールス）

Sony Pictures Intl社とCanal+社のEquinoxeでキャリアをスタートさせ、国際共同製作を担当する。また、Studio Canal社を牽引するメンバーの一人として、配給会社Kanpai Distributionの創設に貢献する。その後MK2社やCelluloid Dreams社とも関わるようになり、テレビ部門を指揮、発展させる。2004年、UMEDIA/UDI- URBAN DISTRIBUTION INTERNATIONAL社を創設。2006年には編集、ミックス、ダビング、字幕に特化したポストプロダクション会社GOMEDIA社を創設する。2011年、URBAN FACTORY社を立ち上げ、長編映画の国際共同製作などを手掛けている。

また、今回のプログラムにはベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ）より、クリスティーネ・トロストルム氏（プロジェクト・マネージャー）も参加いたします。

## 2 参加者 (15名)

### 【監督】

Myrna PARAMITA (インドネシア)  
三間旭浩 (日本)  
空音央 (日本)  
Yana LEKARSKA (韓国)  
Bradley LIEW (マレーシア)  
Zoljargal PUREVDASH (モンゴル)  
Maung Maung Yee Nan Thike(ミャンマー)  
John Paul Geoffrey SU (フィリピン)  
Zhi Wei JOW (シンガポール)  
Nicole Midori WOODFORD (シンガポール)  
LAN Yi-Tzu (台湾)  
PHAM Ngoc Lan (ベトナム)

### 【プロデューサー】

登山里紗 (日本)  
Stefano CENTINI (台湾)  
Supatcha THIPSENA (タイ)

※氏名 (国・地域名)

※参加者名は国・地域名のアルファベット順で表示しています。

「タレンツ・トーキョー2017」 取材申込票

取材申込期限 11月16日(木) 正午 まで

FAX: 03-5388-1327

あて先: 生活文化局文化振興部文化事業課 担当: 栗原 行

御社名 \_\_\_\_\_

取材代表者氏名 \_\_\_\_\_

連絡先(携帯電話) \_\_\_\_\_

人 数 \_\_\_\_\_

人 \_\_\_\_\_

(ペン ・ ムービー ・ スチール) (該当に○)

※ 取材を希望するプログラムの□に✓をつけてください。

11月23日(木・祝) 13:00~14:00 公開講義  
「世界の映画祭を活用する広報戦略」

11月23日(木・祝) 14:30~17:20 公開プレゼンテーション

11月25日(土) 16:15~16:45 授賞式及び閉会式

※ご来場の際は、本票もしくはお名刺を受付でご提示ください。

※ご記入いただいた個人情報は、出欠の確認以外に使用することはありません。

※当日は、お申込みプログラムの開始予定時刻5分前までに受付を済ませてください。

お申込みをいただいても時間までにご来場されない場合、お席の準備ができないことがありますので、予めご了承ください。